

# 風波併存時における漁船の横揺特性と海水 打込みについて

原田 富博・猿田 俊彦

小型漁船の復原性に対して、横風と横波を受ける状態が斜め追波中航走時と並んで最も危険度の高い航走状態であると考えられている。我国における旅客船の復原性の基準も横波と横風の中での船体動揺の安定性を判別する方法がとられており、世界的にも同様な考え方が採られる傾向にある。ここでは、小型漁船の復原性基準を作るという目的に従い、転覆現象を考える上で基礎となる横波横風中の動揺に与える風圧、横傾斜などの影響を調べ、転覆の誘因の1つであり復原性の判断基準の1つでもある打込水の発生条件を明らかにするために小型漁船の模型を用いて実験的研究を行った。その結果、定常風圧下における規則波中、不規則波中における横揺れおよび相対水位変動の応答特性が得られた。実験時の風速および波高が中位の値であったため、甲板上への大量の打込み水の発生までは到っていないが、その前の段階である海水打込み限界波高に対するデータを得ることができた。

運輸省船舶技術研究所 研究調整官

(この論文紹介は昭和53年9月号より続けられております。)